

進捗報告書（実行団体）

Version 1.0

2021年11月30日

こちらの記載例を参考に作成ください。

また、事業終了時の評価に関する完了報告書のフォーマット(暫定)はこちらです。

事業名:	帰住先のない若者の自立を支援する事業
資金分配団体:	公益社団法人 ユニバーサル志縁センター
実行団体名:	特定非営利活動法人 なんとかなる
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	全国
事業対象者:	刑務所・少年院・鑑別所及び、児童相談所一時保護所・児童養護施設・児童自立支援施設を出院・出所・退所等した後、帰住先のない15歳以上の若者

I. 事業概要

事業概要
少年院・少年鑑別所及び刑務所や児童相談所一時保護所・児童養護施設・児童自立支援施設等を出院・出所・退所等した後に、さまざまな事情から身元の引き受け手がいないために帰住先のない15歳以上の若者たちに「住まい・仕事・学び」を提供することで、その成長と自立、社会復帰・再犯防止に寄与する。 支援する方法の柱は次の5点。 <ol style="list-style-type: none">1 安全で安心できる住まいを提供する。2 就職の機会（＝安定した収入）を手助けする。3 求職活動や各種手続き等の立ち会いや手助けをする。4 さまざまな学習の機会を提供する。5 メンタルをケアする機会を提供する。

II. 進捗報告の概要

総括
(1) 「I. 事業概要」に述べる柱5点につき、いずれも順調な実施状況にあると評価している。 (2) 現段階で課題2点、進捗が良好な2点を以降で述べる。 【課題2点】 2 就職の機会①：精神的な障害（手帳保持）を持つ、定時制高校に通学中の1名は未就労。 5 メンタルケア①：DABANPについては、オンライン面談等によるケアしかできず、十分な成果を上げるには恵まれていない。 【進捗が良好な2点】 2 就職の機会②：1名 中卒学歴の若者が就労活動行い、アルバイト採用され、貯蓄も進めてゆけるような収入を得られている。 5 メンタルケア②：臨床心理士による対象者個別のカウンセリングは予定通り実行できており、対象者にも、

一定の成果が見られている。同時進行でスタッフ研修も実施し、対象者への多角的なメンタルケアの体制構築を進めることが出来ている。

Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<p>① 3名/(年平均)の若者を受け入れ、支援している。</p> <p>② 無職の若者が就労できている。</p> <p>③ 就労中の若者の貯金が30万円以上増えている。</p> <p>④ 引きこもり中の若者が自室から出られている。</p> <p>⑤ 定時制高校に入学した若者の就学が継続している。</p> <p>⑥ 当法人施設からの自立を控えた若者が予定通り自立できている。</p> <p style="text-align: center;">（2021年5月1日を基準とする）</p>	<p>① 2つの施設で5名の若者を受け入れることが出来ている。</p> <p>② 中卒学歴の若者1名はアルバイトに就けた。 精神的な障害（手帳保持）を持つ、定時制高校に通学中の1名は未就労。意欲はあるものの、良い就労先に恵まれない、もしくは就労先があっても継続できるか判断が難しい。</p> <p>③ 3/5名の貯金が進んでいる。</p> <p>④ 自室を出て、共用スペースで過ごす機会が増えた。</p> <p>⑤ 課題はあるが、今のところ就学は継続している。</p> <p>⑥ 児童相談所ケースワーカーや勤務先の支援を得ながら順調に進んでいる。</p> <p style="text-align: center;">（2021年10月1日を基準とする）</p>

活動	進捗状況	概要
<p>1 安全で安心できる住まいを提供する。</p> <p>2 就職の機会（＝安定した収入）を手助けする。 求職活動や各種手続き等の立ち会いや手助けをする。</p>	<p>1 順調。</p> <p>2 課題はあるが、取り組みは順調。</p>	<p>1 安心して生活することができている。</p> <p>2 既（正規）就労者の雇用は安定しているが非正規就労及び求職中の者は厳しい。 求職活動（採用条件）に課題がある。 中卒学歴の若者1名は、応募先が限られる中、最終的にカラオケBOXのアルバイトに就くことができた。 本人の努力もあり、早い段階で勤務先からフルタイムでの出勤を請われ、給与、労働条件など厳しい中にもかかわらず、本人の努力より、継続できている。また、貯蓄も進められる見通しである。 精神的な障害（手帳保持）を持つ、定時制高校に通学中の1名は、現在も就労活動中。 施設から徒歩圏のコンビニや小売店を中心に、本人が行ったことがあり、様子を知っている就労先から当たっている。また、就労支援団体との連携を模索中。</p>

<p>3 さまざまな学習の機会を提供する。</p>	<p>3 1名は通学（定時制高校）を継続。さらにもう1名、就学支援（高卒認定希望）が必要になった。</p>	<p>3 定時制高校通学の若者1名は、10月～11月にかけての、コロナによる在宅オンライン授業の欠席が多くあったため、取得単位に課題あり。進級と就学継続に向け担任教諭と都度連絡を取り合い、互いに学校内・施設内での様子や問題について共有し協力体制を取りながら、通学継続に向け対応を進めている。本人も進級を望んでおり、最近では欠席なく通学できている。</p> <p>中卒学歴の若者1名が、高卒認定・大学進学を目指しており、就学支援や奨学金など、過去に連携実績のある外部団体含め、連携をとりながら就学支援体制を構築予定。</p>
<p>4 メンタルをケアする機会を提供する。</p>	<p>4 DAPAMP は直接の面談が出来ないのは課題である。</p> <p>臨床心理士による対象者へのカウンセリングとスタッフ研修は順調に進んでいる。</p>	<p>4 DAPAMP の進捗は、オンライン中心に月1回ペースの面談は実行できている。</p> <p>オンライン中心になったのと、（直接会えない）対象者が1名から、面談から得られる実績やフィードバックする内容が少ないのが、やや懸念される。</p> <p>臨床心理士による、対象者へのカウンセリングは定期的且つ順調に進んでおり、対象者自ら近況や将来のことを語るなど、その効果が伺え、就学・就労の継続にもつながっている。</p> <p>またスタッフへの研修も並行して定期的に開催、参考文献など利用しながら、様々な心理的障害に対する情報や知識を深め、メンタル面を踏まえた、より高いレベルでの対象者への対応を進められるようになっている。</p>

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>(1) III. 活動実績（アウトプット）に挙げる6項目のうちの②と③とメンタルケア（特に、DAPAMP）の達成度が低くなる可能性を危惧している。この3項目は本人並びに当法人の取り組み努力だけでは如何ともしがたい要素が占める比重が大きい。</p> <p>(2) 林業を通じた支援活動について、活動に適した地域の開拓と林業に従事する若者を技術的に支援する職能開発に時間とエネルギーを要している。</p>	

V. インプット

		2021年度		執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0		¥0	%

	管理的経費		¥0		¥0	%
合計			¥0		¥0	%
補足説明		10 月末時点で、資金の移動は発生していないが、立替による進捗事業もあるため、それらについては次月以降速やかに精算を進める予定。				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>(1) コロナ禍の影響で中卒学歴者に対する就職の門戸がこれまで以上に狭まっており、特に、他学歴者に比べた時に募集のある職種が狭いことは、若者の就労意欲の向上に繋がりにくい。「働ければ、どこでもいいじゃん」という境地に達するまでに時間がかかる。) / 根気強く、活動を続ける。</p> <p>(2) コロナ禍の行動制限により、就労可能地域が狭まったり、顔を合わせてのメンタル面接が出来なかったり、施設内で過ごさざるを得ない時間が増えている。 / 感染予防と沈静化を待つ。</p> <p>(3) 林業を介した支援活動について、その土台作り思っていた以上の時間とエネルギーがかかっている。 / 若者を受け入れた活動を始めるまでの計画を見直す。</p>

. その他

自由記述
<p>今回、私達に取り組む支援事業においては、新たな支援体制の構築（メンタルケア、林業を介した支援活動）を目指している。課題も少なくないが、今後この支援事業の継続のためにも、事業の成果達成に向け最後まで尽力してゆきたい。</p>

VII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	<p>2021/5/22【時事通信配信「メディアは倫理観を」】で記事として取り上げられる。https://www.jiji.com/jc/article?k=2021052100741&g=soc</p> <p>2021/5/22【ニッポン放送「八木亜希子 LOVE & MELODY」】に代表理事の岡本が出演。</p>
広報制作物等	有	<p>(1) 4,7,10月にニュースレター（紙）を300部印刷し、行政や関係者に配付した。来年1,4月にも発行予定。</p> <p>(2) 活動を周知するチラシを作成し、ハローワーク等求人紹介機関を中心に配布した。</p> <p>(3) ホームページへの事業実績報告含めた掲載、facebook等のSNSによる若年層向けの現在進行形の発信。</p>

報告書等	有	(1) 定期総会において「活動報告」としてまとめ印字・配付した。 (2) 前述した各種成果物において、こまめに取り上げ、報告した。
------	---	--

IX. ガバナンス・コンプライアンス実

績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	定款の定める通りに開催されている。(本年はオンライン開催)	年に一度の定例総会、定期的な理事会を開催している。
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい。	スタッフ個々と役職者とはフリーに情報・意見交換できるようになっている。